

---

## 第1回 SPARC Japan セミナー2017 開催のご案内

---

この度、NII主催、第1回 SPARC Japan セミナー2017の概略とスケジュールが決まりましたのでご連絡いたします。

今回のセミナーでは、図書館員と研究者が研究データをいかに管理・流通させていくかという視点を共有し、その新たな関係構築について考えるべく、研究者からは現状分析を踏まえた図書館関与の可能性について、図書館員からはRDMトレーニングツールによる研究者支援等について紹介します。議論を深めるため、是非ご参加いただきたく、ご案内いたします。

参加申込受付は、8/25(金) 13時より開始いたします。以下からお申し込みください。

申込はこちら：

<http://www.nii.ac.jp/sparc/event/2017/20170913.html>

- ・今回は動画中継を行う予定です。詳細は当日までに、Webサイトにてお知らせします。なお会場の通信環境によっては、中継中断の可能性もございますのでご了承ください。
- ・今回の定員は60名です。申込期限の9/11(月)より前に受付を締め切る場合がございますのでご了承ください。締め切り後に参加ご希望の方は、恐縮ですが当日の動画中継をご利用いただくとともに、終了後に当サイトで公開する資料等をご参照ください。

---

## 第1回 SPARC Japan セミナー2017

「図書館員と研究者の新たな関係：研究データの管理と流通から考える」

■日時：平成29年9月13日(水) 13:00-17:20

■会場：国立情報学研究所 19階 1901-1903 会議室

<http://www.nii.ac.jp/about/access/>

■セミナーサイト：

<http://www.nii.ac.jp/sparc/event/2017/20170913.html>

■講師（登壇順、敬称略）：

倉田 敬子（慶應義塾大学文学部）

大澤 剛士（農業・食品産業技術総合研究機構 農業環境変動研究センター）

西菌 由依（鹿児島大学）

片岡 朋子（お茶の水女子大学）

ほか1名（研究データ利活用協議会）

■概要：

日本における機関リポジトリは、公開されているものだけでその数700を超えており、世界でも類を見ないくらい大きな規模に成長してきた。こうした機関リポジトリは、主に大学の教育研究活動の成果である学術情報の収集・組織化・保存及び発信といった役割を担い、オープンアクセス推進の一翼を担ってきたが、更なる推進にあたっては、研究活動の過程で生み出される研究データについても同様の仕組みを構築する必要がある。

折しも平成28年7月には、日本における機関リポジトリを振興・相互支援することを目的として、「オープンアクセスリポジトリ推進協会（Japan Consortium for Open Access Repository：JPCOAR）」が設立され、研究データを含む学術情報の管理・流通の発展が期待される場所である。オープンアクセスリポジトリを効果的に運用していくためには、図書館員にとってはこれまであまり触れる機会がなかった研究データを管理する方法やリポジトリを通じた図書館による新たな研究者支援手段を理解する必要がある。また、研究者にとっては、研究データのオープン化が生み出す新たな価値を認識し、図書館員との連携によりリポジトリの積極的・自発的な活用を目指していく必要がある。

以上の状況を踏まえて本セミナーでは、図書館員と研究者が、研究データをいかに管理・流通させていくかという視点を共有し、そこからもたらされる両者の新たな関係について考えてみたい。

---

国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課

支援チーム SPARC 担当

〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2

E-mail: [co\\_sparc\\_all@nij.ac.jp](mailto:co_sparc_all@nij.ac.jp) FAX:03-4212-2375

=====